### 株式会社アルファシステムズ

# 第43期中間報告書

2014年4月1日から2014年9月30日まで





### ●株主の皆様へ



### 社長就任後、 1年を経過しての所感をお願いします。

就任時に、私が考える理想の企業は、社員がいきいきと働き、顧客・業界に一目置かれ、その結果として業績をあげ続ける企業であると社員に伝えました。そのために、まずは会社が目指す方向を全社員に浸透させることに注力しました。実現に向けた行動指針は、「顧客第一主義」と「ソフトウェア生産技術でトップになる」です。この指針のもとで、会社として設定した経営課題に具体的に取り組んでもらっています。各組織で様々なことを実践してもらっていますが、すぐに結果が出るわけではありません。課題解決で大切なことは、"カイゼン"活

動を継続することだと考えています。その意味では、まだスタートを切ったところだと言えます。

当社はソフトウェア開発を生業とする会社ですので、人材がすべてです。個人の実力をいかにあげるか、プロジェクトではチームでいかに成果をあげるかを意識する必要があります。またそのための環境や社風を整えていく必要があります。

例えば、近年は情報セキュリティの観点からお客様の事業所で業務に従事するケースが多くなっています。大きなプロジェクトでは、長い期間、社外で仕事をすることになります。このような状況下で、会社としての組織風土をどのように醸成し、全体として成果をあげ、成長し続けていけるかを考える必要があります。

現在は、経営幹部と若手社員のミーティング機会

を意識的に作るなど、様々なレベルでコミュニケーション機会を増やすとともに、社員から自発的に出てきた情報共有の仕組みの芽をどう育てていくかについて考えています。

また昨今は、ワークライフバランスや女性の地位 向上を求める潮流もあります。こうした社会のトレンドにも配慮した経営ができればと考えております。

### 第43期中間期を振り返り、 事業環境と所感をお聞かせください

現在の通信業界では、通信事業における音声収入の減少と定額料金制の普及、通信事業者間の競争激化等により、収益性が低下しており、先行き不透明な事業環境が続いております。ソフトウェアの開発投資は抑制傾向にあり、この分野での大規模プロジェクトは減少しています。このため、現在当社は、通信システム分野からオープンシステム分野へ事業領域のシフトを進めております。中間期の業績は、プロジェクトの開始時期の遅れなどが響き、前期を下回りましたが、オープンシステム分野は順調に拡大しており、現在、開発要員が不足している状況です。

また、業績達成のための重要なポイントの1つは、 問題プロジェクトを出さないことです。オープンシ ステム分野は業務領域が広く、必ずしも経験値が 充分でないこともあることから、問題プロジェクト の発生リスクが高まります。このため今期は、より ハイレベルでの受注判定会議の運用を開始すると ともに、リスク監視室の体制強化を図りました。受 注前のリスク分析や進行中プロジェクトの監視、顕 在化したリスクの管理を徹底するなど、全社体制 で問題プロジェクトの撲滅に取り組んでおります。

# 0

# 中長期の成長戦略についてお聞かせください。

成長戦略は、「事業領域のシフト」「人的パワーの 拡充」「リスクマネジメントの定着」「生産性の向上」 「プロダクト・サービスビジネスの拡大」の5つです。

「事業領域のシフト」の柱は、オープンシステム 分野の拡大です。これは非常に順調に進んでいま す。ビジネス領域も流通・サービス、金融、官公庁、 エネルギー等、多方面に展開できています。

「人的パワーの拡充」では、オープンシステム分野の拡大を睨んで、技術者のスキル転換に取り組んでいます。また採用活動では、今年4月に82名だった新卒採用を、来年4月は130名程度にまで増やす予定です。

「リスクマネジメントの定着」では、既にご説明しました体制強化などに加えて、過去に発生した問題プロジェクトの反省に基づいた事例集を作り、全社で共有いたしました。プロジェクトマネジメント



力のさらなる向上とリスク感度の高い組織文化の醸成に引き続き取り組んでまいります。

「生産性の向上」では、各組織やチームにおける 地道な"カイゼン"活動を柱としています。"カイゼン" のためのPDCA (Plan (計画)・Do (実行)・Check (評価)・Action (改善))の積み重ねが、ひいては大き な成果につながると考えています。併せて、階層 別研修や技術研修を強化して、個々の社員のスキ ルアップや意識変革を図ってまいります。

「プロダクト・サービスビジネスの拡大」では、文教向け製品の性能向上を実現して大型案件の獲得を果たしたり、また高齢化社会を睨んだヘルスケア関連のビジネスで商談がいくつかまとまったりと、一定の成果をみせています。一方で、新プロダクトや新サービスの開発をもっと加速していきたいと考えております。

### 今後のアルファシステムズが目指す姿、 目標などあればお話しください。

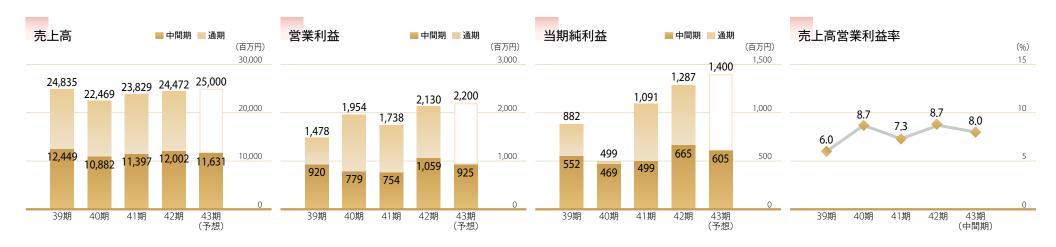
中長期的に目指す方向性は「上質なサービスの提供により競争優位を確立し、持続的な成長と安定した収益基盤を実現」することです。ソフトウェア開発のプロフェッショナルとして、情報通信革命の

動向を見極め、腕を磨き、業界内で一定の地位を確立することができれば、業績は自然についてくると考えております。

引き続き、株主・投資 家の皆様のご支援・ご指 導を、よろしくお願い申 し上げます。



### ●事業概況のご報告



#### 事業区分別の概況 (売上高)



### 当社を取り巻く事業環境

## 主力の通信市場にも新たな動き

### 通信インフラ

通信市場では、スマートフォンの普及やソーシャルメディア、eコマースの拡大に伴うデータ通信トラフィックの爆発的増加により、通信インフラへのさらなる高速化・大容量化・低価格化ニーズの高い状態が続いています。

しかしながら、通信事業者においては、音声収入の減 少や料金定額化の普及により、収益の頭打ち傾向が続く 中で、事業者間競争がますます激しさを増しています。 このような中、

- ●NTTが光回線のサービス貸出し (回線卸売り)事業を開始
- 2NTT光回線とドコモ携帯のセット販売を2月に開始
- ■NTTドコモが、2020年東京オリンピックまでに、 第5世代の移動体通信方式の商用サービスを 開始する計画を明らかにしたこと

等は、国内通信事業に新たな風を吹き込む出来事であり、今後の動向に期待しています。

### 国内携带端末開発

国内携帯端末市場では、iPhoneの独り勝ち状態がさらに進行している中で、海外端末等を利用した格安スマホが話題を集めています。これに加えて、販売奨励金の見直しが行われたことで、国内携帯端末の出荷台数自体が大きく減少してしまっており、国内携帯メーカーの端末事業は、非常に厳しい状況が続いています。

当社におきましても、携帯端末開発が含まれている「モバイルネットワークシステム」事業区分の業績は、2007年3月期をピークにほぼ一貫して減少しており、携帯端末開発関連の売上高は、ピーク時の半分以下になっています。

現在、当社における大きな課題の1つは、この携帯端末開発に代わる事業領域を早期に確立することにあります。

#### ソフトウェア開発の変化

現在の国内IT業界は、企業のIT投資の回復基調に加えて、大型開発案件が集中したことからIT技術者不足が顕在化しています。当社のお客様である大手SI企業の中には、IT技術者を確保しておこうとする動きが見られます。また、

当社自身も業務の一部をパートナー企業へ外部委託する ケースがありますが、適切な技術者がなかなか見つけられ ない状況にあります。これにもかかわらず、

- ●クラウドコンピューティングに代表される ソフトウェアのサービス化
- 2グローバル化の進展により、 ソフトウェア企業間の競争激化
- ❸技術のオープン化

等により、コスト低減圧力は依然として高いままであり、 低コストを狙ったオフショア開発も盛んです。

お客様から求められる業務内容も変化しており、より上流工程からの参画依頼、ソフトウェア開発プロセスの部分的な自動化やオフショア開発の採用、開発工程毎に契約が分割される業務依頼、先進的な高速開発手法の採用等、これらの要求に迅速に対応していく必要があります。



### 経営戦略:事業領域のシフト(オープンシステム分野の拡大)

# 良好な市場環境を追い風に、多方面ヘビジネスを拡大

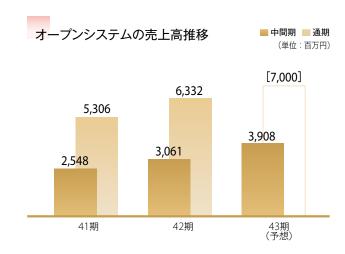
IT業界は、2012年頃から緩やかな回復基調にあります。政府官公庁や大手金融機関による大型投資をはじめ、多くの企業がIT投資を積極化しています。

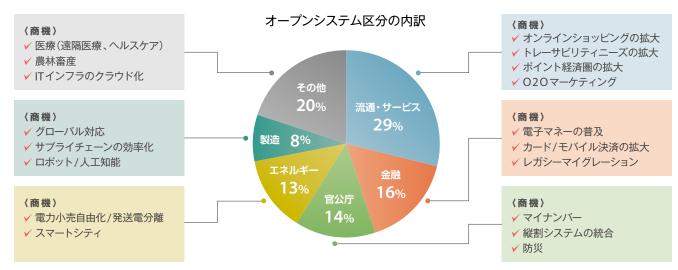
経済産業省が毎月発表している特定サービス産業動態統計によれば、情報サービス産業の売上高は、前年同月比で13ヵ月連続の増加となりました。また、売上高全体の半分を占める「受注ソフトウェア」は、官公庁関連のほか、製造業や流通業といった民間企業のIT投資が牽引し、前年同月比で10ヵ月連続の増加となりました。

コンピュータやスマートフォンなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々なモノに通信機能を持たせて、インターネット経由で自動認識や自動制御、遠隔計測を行う、ブログや動画サイト、Facebook、TwitterといったSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の利用状況や通信記録をマーケティングに利用して、本業を差別化する潮流が拡大しています。

また、スマートエネルギーやスマートシティと いった、社会インフラにおけるICTのより高度な 活用や、農林畜産のようにこれまでICTの恩恵を あまり受けてこなかった新たな領域で、ICTを活 用する動きが進んでいます。

このような動きの多くは、企業の業務システムやビジネスシステムとして具現化されていきます。 当社の事業区分では、これらのシステム開発業務が「オープンシステム」に分類されており、この分野の成長性に期待し、事業領域のシフトを進めています。





### アルファシステムズの製品ソリューション

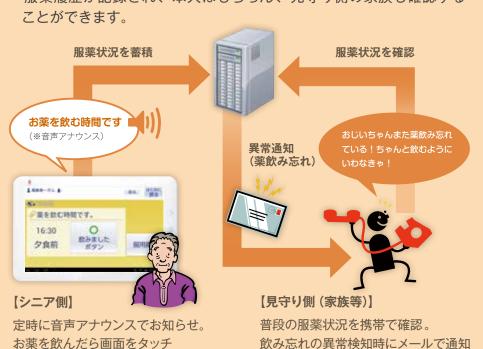
# "ヘルスケア・見守り" ソリューション

アルファシステムズのヘルスケア・見守りソリューションは、家庭にタブレットを設置し、安否確認、情報伝達、 生活支援、地域やコミュニティ連携等のサービスを提供します。今回は人気のサービスについてご紹介いたします。



#### お薬タイマー

- 指定した時間にお薬を飲むように音声でお知らせ
- ・服薬履歴が記録され、本人はもちろん、見守り側の家族も確認する ことができます。



#### 音声読上げ・手書きメール

- メールが届くと音声で読み上げます(文字で確認もできます)
- シニアの方が返信する際は、手書きで返信を行います。



携帯電話やパソコン等で 着信したメールを音声で メールを送信 読み上げ再生

【家族等】

【シニア側:送信】

タブレット上で手書きで メールを書いて送信

#### トピックス

### 地域の環境美化活動に参加しました

本社をはじめ、神奈川県に多数の事業所を有する当社は、地域への **貢献と環境の美化を目的として、毎年、三浦半島のビーチクリーン活動を** 実施しています。今年はあいにくの小雨模様となりましたが、社員有志

を中心とした参加者により、環境 美化活動のお手伝いをすることが できました。

また、今年はこれに加え、川崎 市が主催する「第36回多摩川美化 活動人参加しました。この活動は、 多摩川の川崎市側河川敷を、168 団体による総勢14,692人が一斉 に清掃活動を実施する大規模なも のです。6月とは思えない炎天下で の開催となりましたが、多摩川を 「きれいに | 「よごさない | 「親しまれ る川 | とする活動のお手伝いをする ことができました。



三浦半島のビーチクリーン活動



今後も、これら社会貢献活動へ、積極的に参加してまいります。

#### 株主メモ

#### 事業年度

期末配当金受領株主確定日 中間配当金受領株主確定日 定時株主総会 株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関 同連絡先

上場証券取引所 公告の方法

4月1日~翌年3月31日

3月31日

9月30日

毎年6月

三菱UFJ信託銀行株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号

電話:0120-232-711(通話料無料)

東京証券取引所

電子公告により行う

公告掲載URL http://www.alpha.co.ip/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得 ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

#### お知らせ

#### ご注意

- (1) 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきま しては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなって おります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三 菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱 UFJ 信託銀行が 口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱 UFJ 信託銀行本支店でお支払いいたします。

### ystems 株式会社アルファシステムズ

〒211-0053 神奈川県川崎市中原区上小田中6丁目6番1号 本社(中原テクノセンター1号館) 電話:044-733-4111(代表) Fax:044-739-1100

http://www.alpha.co.jp/

